

当院において摂食障害の治療を受けられた方々へ

—「小児思春期摂食障害に対する FBT (Family Based Treatment) 治療システムの確立」へ

ご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信
研究責任者：岡山大学病院小児科/小児心身医療科 岡田あゆみ

1) 研究の目的

神経性やせ症を中心とした摂食障害は、小児・思春期の女性によくおこる病気です。思春期の摂食障害には、イギリスやカナダなど世界の多く国のガイドラインで FBT (Family Based Treatment) という治療法が一番すすめられています。しかし、海外と日本文化や病院のしくみの違いから日本では FBT を受けられる病院はまだ少ないです。このため、日本でもおこないやすい FBT を開発したいと考えました。

2) 研究の対象になる人

2020年1月から2026年3月31日の間に岡山大学病院小児科において摂食障害の治療を受けられ受診時の年齢が10歳以上18歳未満の患者さん30名です。

3) 研究期間

研究の許可がおりた日～2026年12月31日
当院で実際に研究データの利用を開始する予定日は以下の通りです。
利用開始予定日：研究の許可がおりた日から1週間後

4) 研究方法

当院において摂食障害の治療を受けられた方のカルテの情報について分析を行い、効果的な FBT (Family Based Treatment) の方法について調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・年齢、性別、診断名、身長、体重、肥満度、成長曲線、FBT 実施状況、治療期間、病型、家族構成、症状の有無、受診状況（両親の受診、きょうだいの受診、受診頻度、ミールセッションの実施）、心理検査（EAT26、AQ 検査、エゴグラム）、血液検査（血球数、生化学、性ホルモン、ラピッドターンオーバープロテイン）、尿検査

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院小児科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は鍵をかけた保管庫に保存します。

7) 研究資金と利益相反

この研究は、公益財団法人日本生命財団 研究・地域活動助成 児童・少年の健全育成助成(実践的研究助成)のお金を用いて実施します。

この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護などに支障がない範囲内で、この研究計画について説明することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者))などと一緒にお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方(ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。)にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 小児科

氏名:岡田あゆみ

電話:086-235-7948(平日:9時00分~16時00分)